

2022年2月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

2月の「生活自由度」は57.4点で、4か月ぶりに50点台に低下。 「不安」も「行動の抑制」も再び高まる

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年2月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は2月1~3日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】1月に入り新型コロナウイルスの感染者数は急増を続け、月末に全国で8万人を突破、最高で2万人強だった昨夏の「第5波」をはるかに上回りました。まん延防止等重点措置の適用も1月下旬には34都道府県に急拡大しました。主となるオミクロン株は、デルタ株より重症化率は低い一方感染力が高いと言われ、特に子どもなど若年層への感染も顕著です。感染者・濃厚接触者の大幅増が、医療だけでなく家庭、仕事、社会機能に大きな影響を及ぼしているとの報道が目立つ環境下での調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

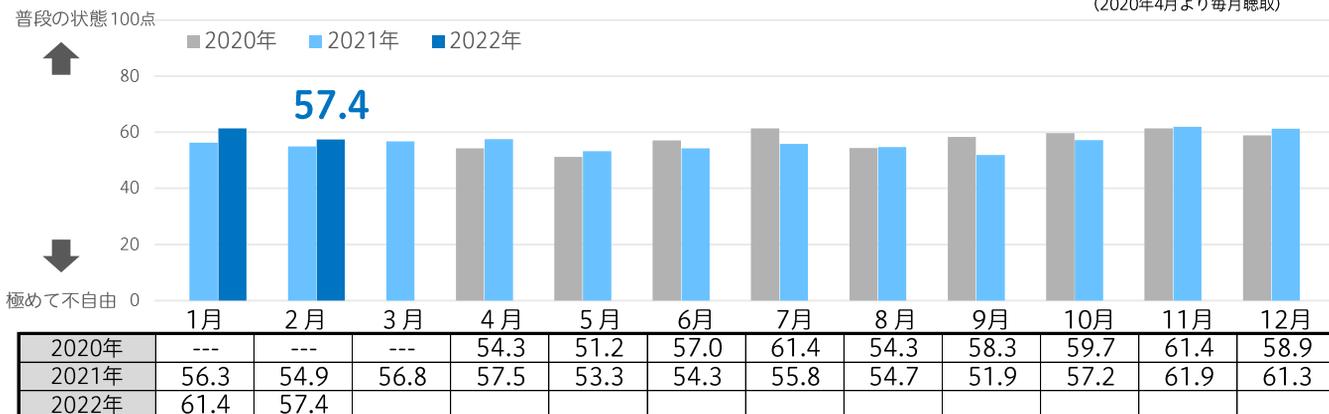
2022年2月は、57.4点

前月差
-4.0pt

前年同月差
+2.5pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年2月は57.4点となりました。先月からは4.0pt減少し、いわゆる「第5波」明けの昨年10月(57.2点)と同じ水準で、4か月ぶりの50点台になりました。前年同月との比較では2.5pt上回っています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】はすべての項目で前月より増加。「経済の停滞」(76.1%、7.4pt増)、「行政の対応」(70.2%、5.6pt増)が目立ちます。【行動の抑制度】もすべての項目で増加。「外食」(73.4%、11.3pt増)、「交友・交際」(78.5%、11.0pt増)、「不要不急の外出」(79.6%、10.1pt増)など。【行動の実施度】では「家の中でできる娯楽」(69.3%、8.3pt増)、「自分で料理する」(57.2%、5.6pt増)、「インターネット通販や出前の利用」(45.3%、5.3pt増)など家の中での活動が増加しています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	経済の停滞	76.1%	+ 7.4pt	- 4.9pt
	行政の対応	70.2%	+ 5.6pt	- 11.2pt
	情報の不足や不確かさ	59.9%	+ 3.8pt	- 10.0pt
【行動の抑制度】 控えている行動	外食	73.4%	+ 11.3pt	- 9.0pt
	交友・交際	78.5%	+ 11.0pt	- 6.9pt
	不要不急の外出	79.6%	+ 10.1pt	- 6.4pt
【行動の実施度】 行っている行動	家の中でできる娯楽	69.3%	+ 8.3pt	- 6.0pt
	自分で料理する	57.2%	+ 5.6pt	- 3.5pt
	インターネット通販や出前の利用	45.3%	+ 5.3pt	- 4.5pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2月の「生活自由度」は57.4点で、4か月ぶりに50点台に低下。「不安」も「行動の抑制」も再び高まる

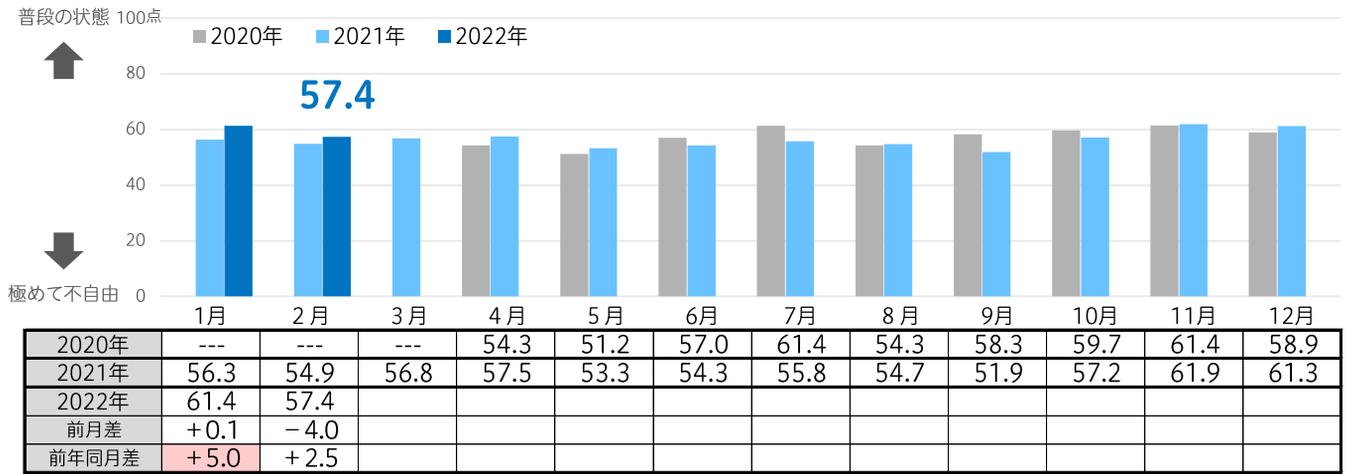
1月に入り新型コロナウイルスの新規感染者数は急増を続け、月末に全国で8万人を超え、最高で2万人強の昨夏の「第5波」を大きく上回りました。まん延防止等重点措置の適用は1月下旬には34都道府県に。子どもへの感染も顕著で、感染者・濃厚接触者を大量に生み、医療だけでなく家庭、仕事、社会機能への大きな影響が報じられる中で今回の調査(2月1~3日)。生活自由度は低下、「不安」も「行動の抑制」も再び高まりました。

回答理由には、今後の見通しへの不安や、長期におよぶ生活の制約がもたらす影響や懸念への声が挙がる

生活自由度の高い人からは、感染対策を行うことのメリットや、時間の余裕ができたことを評価する声の一方、「いつまで続くのか」といった不安、人との接点そのものが減少し続けているあり方への懸念、子どもに我慢させていることで「気持ちが晴れない」といった声も挙がります。生活自由度が中程度の人からは、感染収束への期待の声もありますが、「慣れてはきたが何かと制限される」「人との接触を避けるようになった」「子どもの行事の実施判断には難しさが伴う」「いつまで外出できないのか」といった制約の長期化に伴ういらだちのような声がかえります。生活自由度が低い人からは、制限を続ける間に「子供が大きくなってしまふ」「留学もできず、大学生らしい経験も少ないまま」など、経験が得られなかった時間への喪失感、また仕事や収入への影響に加え、「感染爆発で旅行もキャンセル」「何もかも我慢でつまらない」との嘆きの声も挙がります。

■ 生活自由度

(単位：点 / 差分：pt)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

■ 生活自由度の理由(一部抜粋)

感染拡大による不自由はあまり感じておらず、むしろ感染対策をしっかりとすれば様々な面で精神的にも経済的にも良くなっている。	100点	52歳女性・愛知県
普段当たり前のようできていたことが制限されて、いつまで続くだろうと不安になります。	80点	48歳女性・兵庫県
週1~2回のテレワーク環境ができた分、通勤に時間がかからなくなったことには満足。だが人との接点が減り、マスクもしているので、同じ会社の人の顔や名前が覚えられない。また圧倒的に懇親会が減ったのが残念。	70点	49歳男性・東京都
昨年まではコロナに怯えて本当に何もできなかったが、2年経って、それでもやらなきゃいけないこともあるし慣れてきた部分もある。しかし、幼稚園での行事が規模縮小になったり、保護者が1人しか見に行くことができず悲しい。その分DVDを購入することになるのだが、高いので痛い出費になる。	70点	32歳女性・愛知県
医療や運輸などの仕事の方よりは恵まれた生活をしているが、自分も我慢している部分、子どもにも我慢させている部分で、やはり気持ちは晴れない。充実感は、それまでに比べて感じない。	65点	47歳女性・東京都
今流行しているのは影響力の低いウイルスで、感染してもそこまで悪化しないし、今は感染者が増えているが徐々に収まっていくと思うため。日常生活も普段の形に戻つつあるから。	60点	33歳男性・岐阜県
この生活に慣れてはきたが、何かとコロナ禍なのでという理由で活動が制限されているから。	60点	27歳男性・大阪府
外食や人との接触を避けるようになった。人が密集する場所にも行けなくなっている。	50点	48歳男性・東京都
できることもあるけれど、やはりリスクや周りの反応など気になる。何かあっては、と子ども会などの行事の実施可否判断も難しい。	50点	47歳女性・愛知県
外出を控えている分は、オンラインで購入したり配信サービスや宅配などを使っているので日常生活は大丈夫だが、コロナの影響でいつまでも外出できないのが少しストレスになっている。	50点	61歳女性・大阪府
仕事に関する様々な制限。子どもたちといろいろなところに行ったり、いろいろな物を見たり体験したいけれど、安全を優先している間に、子どもたちがどんどん大きくなってしまふ。	35点	40歳女性・神奈川県
実質的なストレスは、今までのように病院に気軽に行けない、習い事に行けない、あらゆる判断をこちらに任せられるということで、半分以下の点数くらいかなと。ただ、不要不急の外出を自粛する生活、マスク必須など様式の変化に対応しないといけないストレスよりも、それらを守れない人や考え方が甘い人に対する対人的なストレスの方がずっと多い。	30点	42歳女性・愛知県
外出がままならないから。長い間、友人との飲み会やカラオケ、旅行も控えているから。	20点	47歳男性・大阪府
仕事も多少減ったので収入も減った。お料理教室も何年中止のままだし、友達とのランチなどもやはり気になり行きづらいので、会えない。旅行も企画はするが、結局感染爆発などでキャンセルになりました。何もかも我慢ばかりで生活がつまらない。	20点	58歳女性・奈良県
大学生活の2年をコロナで自由に活動できなかったため、目標にしていた留学にも行けず、大学生として経験できたことが少ないままだった。収入も減少し、家族も仕事を辞めたので生活にも余裕がなく、今の生活を維持することに精一杯だから。	10点	23歳女性・千葉県

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】はすべての項目で前月より増加

前月比較では、「経済の停滞」(76.1%、7.4pt増)、「行政の対応」(70.2%、5.6pt増)が5pt以上増加しています。

前年同月比較では、すべての項目で減少。「行政の対応」(70.2%、11.2pt減)、「情報の不足や不確かさ」(59.9%、10.0pt減)などが目立ちます。

【行動の抑制度】もすべての項目で前月より増加

前月比較では、「外出」(73.4%、11.3pt増)、「交友・交際」(78.5%、11.0pt増)、「不要不急の外出」(79.6%、10.1pt増)が10pt以上の増加となりました。

前年同月比較では、すべての項目で減少。「体験型エンタメ」(74.3%、10.6pt減)、「不要不急の買い物」(69.8%、9.1pt減)など。

【行動の実施度】もほとんどの項目で前月より増加

前月比較では、「家の中でできる娯楽」(69.3%、8.3pt増)、「自分で料理する」(57.2%、5.6pt増)など、家の中での活動が増加しました。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「投資や資産運用」(+10.5pt)、「人が密集しない屋外での運動」(+8.9pt)、「家の環境充実」(+8.8pt)、「人が密集しない屋外でのレジャー」(+8.7pt)など。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	21年12月	22年1月	22年2月	前月差	前年同月差
経済の停滞	74.5	68.7	76.1	+7.4	-4.9
行政の対応	71.0	64.6	70.2	+5.6	-11.2
自分や家族の健康	66.9	66.5	67.3	+0.8	-6.1
海外の情勢	70.8	64.1	65.9	+1.8	-4.8
情報の不足や不確かさ	64.1	56.1	59.9	+3.8	-10.0
自分や家族の仕事・収入	57.3	56.4	58.0	+1.6	-4.1
人づきあいの変化	43.1	40.5	43.7	+3.2	-5.1

(単位：% / 差分：pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年12月	22年1月	22年2月	前月差	前年同月差	21年12月	22年1月	22年2月	前月差	前年同月差	
旅行・レジャー	73.5	73.5	82.0	+8.5	-8.5	51.9	50.7	47.1	-3.6	-5.4	-34.9
人とのボディタッチ (握手やハグなど)	74.7	74.4	80.5	+6.1	-4.9	66.3	62.7	61.4	-1.3	-2.5	-19.1
不要不急の外出	69.9	69.5	79.6	+10.1	-6.4	59.1	57.3	55.4	-1.9	-3.9	-24.2
交友・交際	70.5	67.5	78.5	+11.0	-6.9	52.9	51.1	51.1	±0.0	+0.1	-27.4
体験型エンタメ (ライブ・観劇・映画鑑賞など)	67.6	66.4	74.3	+7.9	-10.6	51.7	50.2	48.1	-2.1	-4.5	-26.2
外出	65.5	62.1	73.4	+11.3	-9.0	51.0	49.0	48.5	-0.5	-3.4	-24.9
不要不急の買い物	62.1	60.2	69.8	+9.6	-9.1	55.7	54.1	53.1	-1.0	-3.2	-16.7

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年12月	22年1月	22年2月	前月差	前年同月差	21年12月	22年1月	22年2月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底 (マスク着用や手洗いなど)	91.2	89.7	91.8	+2.1	-2.2	84.9	82.9	80.1	-2.8	-3.4	-11.7
十分な運動・栄養・睡眠	75.7	73.9	76.6	+2.7	-0.7	82.0	81.9	84.3	+2.4	-0.7	+7.7
家の中でできる娯楽	64.1	61.0	69.3	+8.3	-6.0	56.4	55.6	55.9	+0.3	-1.2	-13.4
感染対策商品や日用品の備蓄	67.8	66.0	68.8	+2.8	-2.6	67.9	69.7	67.7	-2.0	-1.8	-1.1
キャッシュレスでの支払い	61.0	63.3	66.3	+3.0	+1.3	66.4	68.0	69.7	+1.7	+2.0	+3.4
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	58.1	56.7	61.9	+5.2	---	56.1	55.8	56.6	+0.8	---	-5.3
感染対策を徹底している店や施設の利用	56.9	55.2	59.7	+4.5	---	58.3	57.8	56.7	-1.1	---	-3.0
自分で料理する	52.9	51.6	57.2	+5.6	-3.5	61.2	61.7	64.4	+2.7	-0.7	+7.2
自家用車での移動	47.1	47.1	51.1	+4.0	+0.6	47.5	46.7	47.3	+0.6	+0.2	-3.8
ストリーミングサービスの利用 (動画や音楽など)	49.4	45.3	46.9	+1.6	+0.6	50.5	50.9	48.6	-2.3	-1.7	+1.7
スマホやパソコンなどでのゲーム	46.5	43.2	46.5	+3.3	-3.8	47.9	47.0	44.8	-2.2	-2.3	-1.7
家の中でできる運動	45.0	41.5	45.7	+4.2	-1.6	50.8	49.8	51.6	+1.8	-0.6	+5.9
インターネット通販や出前の利用	41.0	40.0	45.3	+5.3	-4.5	42.4	45.7	42.8	-2.9	-2.1	-2.5
人が密集しない屋外でのレジャー	44.1	40.3	43.5	+3.2	+4.1	52.9	52.3	52.2	-0.1	+1.4	+8.7
SNSの閲覧・投稿	41.3	38.8	41.5	+2.7	+3.2	48.9	48.8	49.2	+0.4	+5.0	+7.7
人が密集しない屋外での運動	40.9	37.5	39.5	+2.0	-0.2	49.7	46.7	48.4	+1.7	-0.6	+8.9
時差通勤・時差通学	35.7	35.1	39.1	+4.0	-1.5	38.8	39.8	39.6	-0.2	-0.1	+0.5
家の環境充実 (通信環境整備や家電購入など)	33.7	31.3	31.9	+0.6	+2.6	41.3	40.9	40.7	-0.2	+2.4	+8.8
テレワーク ※有職者ベース	30.6	29.7	31.5	+1.8	-3.5	31.1	30.9	32.2	+1.3	+0.5	+0.7
副業 (検討含む)	30.8	26.8	28.7	+1.9	+0.5	31.7	31.7	32.9	+1.2	+0.5	+4.2
普段より少し良いものを買う	28.6	28.4	28.5	+0.1	+0.8	33.7	34.2	31.7	-2.5	+0.7	+3.2
投資や資産運用	30.4	27.3	28.0	+0.7	+3.3	38.4	38.1	38.5	+0.4	+4.7	+10.5
モノを手作りする (手芸、リフォーム、DIYなど)	25.9	25.5	26.3	+0.8	-1.5	32.9	33.9	32.7	-1.2	-1.6	+6.4
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	25.1	22.5	25.5	+3.0	+2.3	29.9	30.0	30.0	±0.0	+2.5	+4.5
就職・転職・起業 (検討含む)	25.7	22.5	24.9	+2.4	+2.7	27.9	27.9	27.1	-0.8	+0.2	+2.2
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	24.5	22.9	24.4	+1.5	+0.9	28.5	28.8	29.0	+0.2	+1.8	+4.6
オンラインでの飲み会・食事会	19.3	16.7	18.5	+1.8	+0.3	20.0	19.9	19.3	-0.6	+0.4	+0.8
お店・団体の支援	20.5	19.1	17.9	-1.2	-2.2	22.5	24.2	22.4	-1.8	-2.7	+4.5
オンライン学習	19.4	17.9	17.5	-0.4	-2.0	23.7	24.5	24.5	±0.0	-0.6	+7.0
転居やリフォーム、複数拠点での生活 (検討含む)	18.4	16.8	16.2	-0.6	---	22.6	22.5	21.0	-1.5	---	+4.8

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

【※有職者】
2022年 2月 :1,074人
2022年 1月 :1,063人
2021年12月 :1,034人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)

調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人

<2020年4月~2021年3月>							<2021年4月~>						
	20代	30代	40代	50代	60代	合計		20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755	男性	122	143	187	169	136	757
女性	119	141	185	158	142	745	女性	118	139	183	164	139	743
合計	241	286	375	319	279	1,500	合計	240	282	370	333	275	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年2月1日(火)~3日(木)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都 それぞれ2月18日時点)

<2020年>	<2021年>
4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで) 緊急事態宣言を全国に拡大	8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長 東京パラリンピック開幕
5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都) 1都3県含む47都道府県すべてで解除	9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も 重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動	
9月 東京でGoToトラベルの予約開始	
10月 GoToイートの予約開始	
11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明 東京や大阪含む10都道府県でGoToイート中断	10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)	11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和 欧米での感染者急増の報道 11月末、新変異株「オミクロン株」国内初確認
<2021年>	12月 下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染
1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)	[今回の調査時点までの詳細]
2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定	<2022年>
3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除	1月9日 「まん延防止等重点措置」、沖縄・山口・広島3県に適用(1月9日~31日)
4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大 緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出	1月13日 全国新規感染者数が2万人を突破、東京は3千人超
5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加) 高齢者へのワクチン接種進む 大規模接種センター開設(東京・大阪)	1月21日 同重点措置、首都圏1都3県を含む13都府県追加(1月21日~2月13日)
6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除 7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続	1月22日 全国新規感染者数が6万人を突破、東京は1万人超
7月 緊急事態宣言、東京(4度目)、首都圏3県・大阪に拡大 東京五輪開幕 北海道・石川・京都・兵庫・福岡にまん延防止等重点措置	1月25日 全国新規感染者数が8万人を突破、東京は1万2千人超
<備考>	1月27日 同重点措置、大阪・京都・兵庫を含む18都府県追加(1月27日~2月20日) 合計で34都府県に適用 保育所等の全面休園、37都道府県644か所で最多記録(厚生労働省) 自宅療養者は26万人超に(厚労省発表) 全国知事会、教育施設への対策を国に提言
	1月28日 全国新規感染者数が9万人を突破、東京は前日に続き1万7千人超
	1月29日 救急搬送困難が1月30日までの1週間に5,303件、3週連続で最多更新(消防庁)
	2月1日

・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。

・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 玉・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161